

北九州市立交通安全センター 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成30年10月18日（木） 10:00～11:50
- 2 場 所 北九州市役所 21会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 阿部構成員、重國構成員、寺町構成員、
中澤構成員
(事務局) 市民文化スポーツ局安全・安心都市整備課長、
都市啓発係長、担当職員
- 4 会議内容
 - 構成員の互選により、座長を選出
 - 当日の配布資料・議事次第、検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
 - 応募団体より提案概要に関してヒアリング
 - (構成員) 平成29年度は、団体の総収入が大幅に増えているが原因は何か。
 - (応募団体) 平成29年度は福岡市の市営駐輪場の指定管理者に指定されたため、指定管理料分が増収した。
 - (構成員) 活動計算書のうち「サイクル&ライドなどの自転車利用による公共交通機関の利用促進を図る事業」の消耗品費と外注費が平成29年度は大幅に増えているが、その原因は何か。
 - (応募団体) 市内で行うシェアバイク事業のうち市所有のバイクステーションの移設があった。市から移設の委託料を受け、移設費用の支出額分等が増えている。
 - (構成員) 「自動車から自転車への転換によるCO₂削減により環境の保全を図る事業」の事業費が平成29年度は減少し、平成30年度予算で増加しているのはなぜか。
 - (応募団体) 国の電気自動車の導入促進事業で、自動車の更新時期に事業費が増加するためである。
 - (構成員) 貸借対照表をみると平成28年度に比べ平成29年度は機械装置が増えているが、設備投資をしたのか。
 - (応募団体) 福岡市の自転車駐輪対策として駐輪場を作ったもので、設備投資である。
 - (構成員) 入園者が増加している理由は何か。
 - (応募団体) 交通公園の緑生化や舗装工事、トイレの改修工事などにより、明るくきれいな公園となったため入園者が増えた。また、幼稚園や小学校

等での出前講習を積極的に行いPR活動を行ったことも効果的であった。

(構成員) 利用者アンケートの内容を教えてください。

(応募団体) アンケートの内容は、「指導員の対応」や「交通公園についての意見、要望」などである。

(構成員) 高齢者運転シミュレーターの導入によって、どの程度入園者の増加を見込んでいるのか。

(応募団体) 高齢者運転シミュレーターは入園者の増加というより、交通安全教育の質の向上や運転免許返納促進などに資するものとして導入したものである。

(構成員) 平日と休日で人員配置にあまり差が無いようだが、土、日などの運営に支障はないか。

(応募団体) 平日は園外講習などに、休日は来園者の対応に人員が必要なため、平日も休日も人員は同様に確保する必要がある。

(構成員) 園長の配置が、0.5人となっているのはなぜか。

(応募団体) 園長は、土、日、祝日に交通公園で勤務することが多いため、交通公園での配置は、0.5人としている。

(構成員) 外国人の自転車安全教育について、どのように取り組んでいるか。

(応募団体) 企業や学校から依頼を受けて、外国人を対象に交通公園で交通安全教室を実施している。

(構成員) 高齢者の交通安全教育について、どのように取り組んでいるか。

(応募団体) 市民センターなどと連携し、高齢者の交通安全教室を実施している。

(構成員) 平成30年度の収支予算書に「再生可能エネルギーなどの活用による低炭素地域づくり推進を図る事業」が盛り込まれていないのはなぜか。

(応募団体) 市民センター(災害時避難場所)への再生可能エネルギー設備の設置計画があったが、電気の買取価格の低下や市民センターの老朽化等の理由により実現しなかったためである。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換

(構成員) 市の政策を理解したうえで理念や基本方針を持っている。

(構成員) 入園者数は、目標を上回っており積極的に取り組んでいる。

(構成員) 目標数値が積極的に設定されており、取り組みに熱意がみられる。

(構成員) 長年に渡り指定管理者として質の高い交通安全教育を実施しており、実績として評価できる。

(構成員) 経験豊富な指導員を配置し、熱意をもって交通安全教育に取り組んでいる。

(構成員) 利用者への懇切丁寧な指導が行われ、利用者の十分な満足が得られている。

(構成員) 施設の設置目的や性格などを十分に理解し、これまでの業務実績を今

後に生かす意欲が見られる。

(構成員) 園外での営業、広報活動など効果的な提案がある。

(構成員) 警察等関係団体と連携を密にし、交通安全教育を実施している。

(構成員) 個々の事業の実現可能性などの判断がしっかりなされている。

(構成員) 団体の財務状況を十分に理解しており、収支計画も適切である。

(構成員) 福岡市においても、指定管理業務等を受託するなど、実績や経験が豊富である。

(構成員) 顧客満足への積極的な姿勢が見られ評価できる。

- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
(構成員)「指定管理料及び収入」については、指定管理料が市の示す上限額と同額であるため検討会としての評価レベルは、「3」が妥当である。
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議
- 検討会としての検討結果
 - ・ 特定非営利活動法人 I-D O を指定管理者として適切と判断する。
〔付帯意見〕
 - ・ 高齢者の交通安全教育の取組みを強化されたい。
 - ・ 外国人の自転車交通安全教育の取組みを強化されたい。
- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。